

「この人 70」

津田このみ 76歳 兵庫県

編集部 俳句を始められたのは？

津 田 平成二十二年に、町内会の友人に誘われて始めました。小学六年生の頃、国語の時間に作った俳句を誉められ、皆の前で読み上げられたのを思い出して、何とか作れるような気がしました。滑稽俳句は、俳句の先輩が誘ってくださったのがきっかけです。

編集部 滑稽俳句の魅力とは？

津 田 季語を面白く使うところです。

編集部 俳句における「滑稽」とは？

津 田 楽しいこと、嬉しいこと、馬鹿ばかしいことだけでなく、苦しいこと、悲しいことなど全てをユーモアで表現出来ることでしょうか。

編集部 滑稽俳句を続けていて良かったことは？

津 田 楽しみごとが増えて、忙しくなったことです。

編集部 滑稽俳句を作るコツは何でしょうか。

津 田 何も考えずに、出来る時に沢山ストックしておきます。出来ない時には、無理にひねり出そうとしないことです。

【代表句】

北窓を開ければ向かひは南窓
すき焼の肉は霜降り偽装品
花粉症マスクで美貌見せられず
撫子がロンドンの地に咲き誇り
四月馬鹿と云いて話を取り上げず